

目標・KPI（2024年度）

No.	重要課題テーマ	重要課題 （マテリアリティ）	長期		短期		対象範囲	
			長期目標（2030年にありたい姿）	KPI	短期達成目標	KPI		
1	①レジリエントな放送・通信インフラの構築、情報格差の解消	①-1あらゆるエリア・環境への放送・通信インフラの提供	どんなときも、地球上のあらゆるものや場所に対して信頼性の高いコネクティビティを提供することにより、特に条件不利エリアや開発途上エリア等におけるデジタルデバイドの解消と通信環境の改善に寄与し、人々のより自由な情報へのアクセスを実現する。	保有衛星（非静止衛星やHAPSを含む）の利用帯域	・静止衛星フリートの利用帯域を前年度末より拡大する ・保有衛星以外も含めて衛星通信サービスの拡充を進める	・保有衛星フリートの利用帯域 ・事業提携先の衛星サービス（船舶向け）契約数	グループ	
			—	—	災害時等に重要な情報源となる光ファイバー経由の再送信サービスの累計契約件数を2025年(2024年度末)までに、282万件に拡大する	再送信サービスの累計契約件数	グループ	
①-2災害に強いレジリエントな放送・通信インフラの提供を通じたBCP及び救援・復興支援		さまざまな災害から人命・経済・暮らしを守り支えるための強靱な通信ネットワークを提供し、災害に対するレジリエンス強化に貢献する	保有衛星（非静止衛星やHAPSを含む）の利用帯域	・静止衛星フリートの利用帯域を前年度末より拡大する ・保有衛星以外も含めて災害対策に有効なサービスを開発、拡充する ・防災支援機関や企業等との耐災害パートナーシップを拡大する	保有衛星フリートの利用帯域	グループ		
			—	放送及び配信サービスを安全且つ安定して提供できる環境を向上する	竣工15年大規模建物修繕の実行	グループ		
①-3技術イノベーションを踏まえた衛星通信サービスの高信頼性・高持続性に向けた取り組み		サービスの安定に繋がる新たな技術の開発や採用に加え、社外とのパートナーシップによる衛星や管制設備の冗長化などに積極的に取り組みサービスの高度化と信頼性向上をともに実現する	重大なサービス断数（※）	重大なサービス断を毎年ゼロ件にする（※） ※ 重大なサービス断…電気通信事業法施行規則第58条に準じる	重大なサービス断数（※）	グループ		
②多様なコンテンツによる生活の豊かさの向上		②-1多様なコンテンツを、放送や配信、様々な顧客接点で提供	・様々なコンテンツやサービスを取り揃え、人々の価値観を広げる統合メディアプラットフォームを実現する ・人々とコンテンツの出会いを促進し、観たいコンテンツを簡単に観ることができる世界をつくる	—	衛星放送、配信サービスのコンテンツを充実させ、放送及び配信と連携した体験イベントの開催などにより人々がコンテンツを楽しめる機会を増やす	イベント開催数	グループ	
				②-2多様なコンテンツホルダーの参入を支援し、コンテンツ流通を促進	・メディアソリューション事業の新規顧客の増加 ・運用効率化に向けたLYNKS追加機能の開発	・コンテンツ提供者にTMCにおけるスタジオ機能、コンテンツの伝送、配信機能等をサービスとして提供し、多様なコンテンツ流通を推進させる ・コンテンツデータベース（LYNKS）により放送事業者における番組情報業務の運用効率化を実現し、番組情報流通のエコシステム化を推進	・メディアソリューション事業の新規顧客の増加 ・運用効率化に向けたLYNKS追加機能の開発	グループ
		②-3暴力・人権・差別等のコンテンツへの適切な対応		—	提供コンテンツのガイドラインに沿った適切な運用を実施し、時代の変化に合わせ随時改定を行う	—	グループ	
7		③脱炭素社会と循環型経済の実現に向けた環境への寄与	③-1当社グループ事業におけるCO2削減をはじめとする気候変動への対応	Scope1、2のカーボンニュートラルおよびScope3の削減を継続させ、気候変動問題への緩和と適応が進んでいる状態	GHG排出量	・2025年度のScope1、2カーボンニュートラル達成の実現に向けたGHG排出量の削減と課題解決への対応 ・Scope3のGHG排出量の削減に向けた中核事業会社スカパー J S A T ㈱の具体的な取り組みの検討の開始	・GHG排出量 ・再生可能エネルギー使用比率	グループ
③-2衛星を利用したCO2削減の支援			CO2削減に寄与する事業やサービスの提供を通じて、脱炭素社会へ貢献する	—	CO2削減に寄与する事業やサービス開発を推進する。	CO2削減に寄与する事業やサービス開発の進捗状況	グループ	
③-3廃棄物の適正な処理、リユース、リサイクルの推進	廃棄物の適正な処理、リユース、リサイクルの推進により、廃棄物量を削減する		廃棄物総排出量	・廃棄物排出量を集計し、実績を開示する ・リサイクル率の更なる向上	廃棄物総排出量	当社及び国内連結子会社		
				紙資源の削減とデジタルシフト推進を行う			グループ	
10	③-4環境に配慮した調達	全サプライヤーにグリーン調達を浸透させる	—	文具等消耗品におけるグリーン購入のグループ会社への拡大推進	—	グループ		
				事業系へのグリーン調達導入に向けて検討を開始する			スカパー J S A T ㈱	

No.	重要課題テーマ	重要課題 (マテリアリティ)	長期		短期		対象範囲
			長期目標（2030年にありたい姿）	KPI	短期達成目標	KPI	
11	④宇宙環境の改善	④-1スペースデブリ削減への取り組み	スペースデブリ除去サービスを事業として確立させ、持続可能な宇宙開発に向けたクリーンな宇宙環境の維持・改善に貢献する	－	技術研究開発を推進する	事業開発の進捗状況	グループ
12	⑤環境や社会に寄与するイノベーションの推進	⑤-1リモートセンシングの開発・推進	リモートセンシング事業を推進することにより地球環境改善や安心安全な社会の発展に寄与する	リモートセンシングの具体的な活用事例数	・リモートセンシング活用事例を拡大する ・地球観測（EO）事業者、データ解析プラットフォーム事業者、データ利用事業者とのパートナーリングを拡大する	・リモートセンシングの具体的な活用事例 ・パートナーリング状況	グループ
13		⑤-2NTN事業の開発・推進	すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワークを構築し、Society 5.0が提唱する超スマート社会の実現に寄与する	－	・事業開発関係先とのパートナーシップを推進する ・事業計画を策定し（見直し含む）、アクションプランを実行する ・3GPPへの参加等を通じて標準化活動を推進する	事業開発の進捗状況	グループ
14		⑤-3放送・通信の高度化、技術開発等による新しい価値の提供	新たな事業／サービスを提供し続け、社会を発展させる	－	・宇宙事業において新たなビジネスの創造・協創の検討を進める ・メディア事業において顧客価値を高める新たなサービスを毎年投入し続ける	新たな事業／サービスの具体的な事例	グループ
15	⑥パートナーシップの促進（※）	⑥-1パートナー企業との人材交流・技術交流、および協業プロジェクト、イニシアチブ等への参画	－	－	－	－	グループ
16	⑦強靱な経営基盤の整備	⑦-1コーポレート・ガバナンス体制の整備	取締役会の経営機能・監督機能を強化し、多様性と実効性のある体制を常に追求する	－	・コーポレートガバナンス・コードを遵守する ・重大な違反件数をゼロにする（前年度より継続）	重大な違反件数	グループ
17		⑦-2ステークホルダーへの積極的かつ責任ある対話と開示	適切な対話と開示を実施し、ステークホルダーとの強い信頼関係を築き続ける	－	・開示内容を充実させ、ステークホルダーごとの対話実績等を開示する ・持続可能な調達に向けサプライヤーとのコミュニケーションを強化する	・投資家面談数 ・アセスメント実施数	グループ
18		⑦-3情報セキュリティ・個人情報保護	重大な違反や情報漏洩ゼロを維持する	重大な違反や情報漏洩件数	・ISMS・Pマーク認証を毎年維持する ・サイバーセキュリティを強化する	－	グループ
19		⑦-4人権の尊重	人権尊重の考えが浸透し、方針に掲げた取り組みが実施されている	－	人権デュー・ディリジェンスを開始し、人権リスクの特定、必要に応じた対策を実施する	－	グループ
20	⑧多様な人財の活躍	⑧-1環境の変化に対応し、変革を推進しうる人財の確保・育成	一人ひとりの能力アップのための環境が整備され、個々の能力の総和としての人的資本が拡大し、変革の推進、労働生産性の向上が実現している状態	労働生産性（一人あたり利益）	・キャリア自律促進のために手挙げ式研修プログラムを増やす、参加数を増やす ・スキルギャップを明らかにするためにスキルマップ構築を進める	－	スカパー J S A T ^(株)
21		⑧-2多様な人財の活躍を促すDE&Iの実現	多様性のある環境を実現することで、活発にイノベーションを創出している状態	女性管理職比率	・内発的動機を高める施策や働きかけにより、社員の意識変容を進める ・働きやすい環境整備とコミュニケーション活性化により、多様な働き方への理解浸透を図る ・育児休業復職率100%を維持する ・男性育休取得率を前年比プラスにする	・育児休業復職率 ・男性育休取得率	スカパー J S A T ^(株)
22		⑧-3互いを尊重する、安心安全な組織づくり	心理的安全性が高く、一人ひとりが力を発揮できる職場環境・制度が整っている状態	エンゲージメント指標	・エンゲージメント指標を前年より改善する ・法定検診受診率100%を目指す ・高ストレス者割合を前年より改善させる	・エンゲージメント指標 ・法定検診受診率 ・高ストレス者割合	スカパー J S A T ^(株)
23	⑨地域・コミュニティの発展	⑨-1次世代教育・地域共生などの社会貢献	アセットを活用した社会貢献を通じ、"Space for your Smile"を実現する	－	アセットを活用した社会貢献活動を継続および企画し推進する	社会貢献・地域活性を促すような施策数	グループ
					スカパー東京メディアセンターにおける災害時の地域貢献のため地方公共団体との連携を強化する	江東区との協定締結も含めた地域団体との連携・協力の実現	グループ

※No.15: 重要課題テーマ「パートナーシップの促進」は、全てのマテリアリティに関わるため、個別の目標・KPIは設定していません。